

陳情第 1 号

陳情人 佐野市出流原町 914

総合運動公園補助球場の存続を求める会

代表 新井 重光

佐野市運動公園運動広場における補助球場としての機能の 存続を求める陳情

1 陳情の要旨

佐野市赤見町の佐野市運動公園運動広場における補助球場としての機能の存続を求める。

2 陳情の理由

これまで、佐野市運動公園運動広場（補助球場）で、プロ選手を招いての公式野球大会等が出来たのは、本球場と試合前の練習の場としての補助球場がセットされている球場だからです。学童野球から、中学、リトル、シニア、高校、社会人、還暦、古希の年代まで多くの大会を開催してきました。時期により大会日程が重なるなど球場確保が困難となっています。この補助球場は、本球場がメインの大きな大会の場合、試合前の準備や軽い練習の場として選手にとって必要な施設であり、これまでおおいに活用されてきました。

近隣の足利市、小山市、栃木市、館林市なども本球場と補助球場がセットで設備され補助球場に有効活用されている状況です。

また、佐野市は小山市のプロ野球チームの誕生に伴い、佐野市運動公園野球場使用の申し出を受け、昨年 12 月の本会議で照明施設の改修費として、230 万円の予算を計上されております。

よって、ここに野球をたのしむ人、それをサポートする皆さんの総意をもって補助球場としての機能を存続させることを市長に要望しました。そこで佐野市議会としても趣旨をご理解いただき、できる限りのご支援をお願い致します。